



おもいやりエピソードを紹介します！



金明小学校では、今年度も、「やさしい心、強い心を育て、笑顔いっぱいのあたたかい学校づくり」を目指しています。道徳通信第1号発行後、お家の方から、金明っ子のステキなエピソードが集まりました。すてきな思いやりが感じられるエピソードを紹介します。

娘が、掃除のときに4年生の男の子が優しく教えてくれたりモップを片付けてくれたりすることを嬉しそうに家で話しています。だれにでも優しくできるって素敵な子だなと思って話を聞いています。（1年生保護者）

手伝ってほしいと言うと、すぐに「いいよ」と手伝ってくれます。（3年生保護者）



私が仕事で疲れて頭が痛く寝ていると、何も言わず、まくら(クッション)とタオルケットを持ってきてくれました。さりげなく、こんな事ができるようになったんだと思うとうれしくなり、頭の痛みもどこかへいきました。（3年生保護者）

休日の午前中、朝から調子が悪くて子ども達の宿題を見守っている途中に「少し休むわ。」と言ってソファに横になると「大丈夫？ゆっくり休んで。」と言い、近くにあったひざ掛け毛布を体にかけてくれました。宿題もしっかりお兄ちゃんとがんばってやり遂げていました。

（3年生保護者）

すてきなエピソードを寄せていただきありがとうございました。

その他いただいておりますエピソードは、次号にて紹介させていただきます。

「やさしく、強い金明っ子」を保護者や地域の皆様と育てていきたいと考えています。

——きりとり——

思いやりエピソードを募集します！お子さんや金明っ子の「すてきな思いやり」が見られた時のご感想を教えてください！「弟や妹にやさしい！」「お家のお手伝いをがんばってくれている！」「うれしい声をかけてくれた！」など、いろんなエピソード、お待ちしております！しめきりはありませんので、是非学担までご提出ください。

年 児童氏名（ ） 保護者名（ ）